

## 平成 27 年度 第 2 回 介護・医療連携推進会議 記録

### ● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス麻生

### ● 開催日時・場所

日時	平成 27 年 7 月 29 日 (水) 14:00~15:30
場所	社会福祉法人 鈴保福祉会 柿生アルナ園 3F 会議室

### ● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	柿生アルナ園地域包括支援センター	A 様
2	柿生アルナ園地域包括支援センター	B 様
3	柿生アルナ園地域包括支援センター	C 様
4	居宅介護支援センター虹の里	D 様
5	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブグループとも	E 様
6	「結」ケアセンターあさお	F 様
7	「結」ケアセンターあさお	G 様
8	エイプレイス麻生 (管理者)	初山 輝行
9	エイプレイス麻生 (計画作成責任者)	中山 あんり
10	エイプレイス麻生 (看護師)	小林 瑞紀

### ● 議事

NO	議事内容
1	サービス提供状況について
2	事例検討について
3	その他 (質疑応答等)

● 記録

議事 1	サービス提供状況について
初山	定期巡回サービス運用実績 (H27.4~H27.6) の報告 <別紙配布資料にて報告>
議事 2	事例検討について
中山	チーム型定期巡回のご利用事例 <別紙配布資料にて報告> ※H27.7.22 川崎市定期巡回・随時対応型訪問介護看護シンポジウム発表事例
議事 3	その他 (質疑応答等)
ご参加者	訪問看護が医療保険で入る場合は、エイプレイスさんと連携している訪問看護事業所さんが入られるのですか？
初山	訪問看護が医療保険で入る場合は、連携先を問わず、どの事業所さんでも入っていただけます。もともと入っている訪問看護さんがある場合でも、医療保険であれば引き続きご利用いただけます。介護保険でご利用になる場合には、連携先である「ケア工房・真謝」さん、もしくは、8月から連携を受けてくださいました「訪問看護ステーションゆらりん」さんに対応していただくことになります。
ご参加者	エイプレイスさんの看護師さんは訪問看護には入らないのですか？
小林	訪問看護サービスをご利用になる場合、医師の指示書が必要になるのですが、その指示書は訪問看護の事業所へ出されます。エイプレイスは定期巡回の事業所になるので、指示書はいただけません。なので、私が実際に何かの処置をするということではできません。
初山	アセスメントナースは、あくまでも介護職やご家族への助言やアドバイスを行うことを役割としておりまして、実際の処置等を行うことはできません。処置等が必要な場合には、訪問看護事業所さん対応の訪問看護サービスをご利用いただくことになります。
中山	実際の処置はできなくても、介護を行っているうえで、「今日は調子が悪いな」とか「最近足の浮腫みが気になるな」という疑問を確認してもらえる環境にありますし、社内に看護師がいると、「こんなこと聞いていいかな？」と迷うような些細なことも気軽に質問もできるので、介護としてはとても助かります。
ご参加者	アセスメントナースって何をしてくれるのかなと思っていましたが、エイプレイスさんの場合は、サービス開始の時には必ず来てくださいますし、サービスが始まってからも月に1度モニタリングに来てくださいますから、心強いですね。
初山	サービス開始前に看護師の視点からアセスメントを行い、その結果を踏まえ介護計画を立てます。そして日々情報共有し、看護の視点もケアに反映させていきます。ヘルパーでは判断できないようなことや、ちょっとした疑問もすぐに確認できるので、心強い存在です。
ご参加者	あとエイプレイスさんは、パソコンに URL を貼っていただいて、そこから日々の状況がわかるようなシステムを使っているから、ご利用者さんの様子が手に取るようにわかります。これはすごく良かったですね。そのことをご家族にお話ししましたらご家族もご覧になりたいと仰いました。エイプレイスさんにそのことをお伝えし、ご家族にも見られるようにしていただきました。ご家族も職場からパソコンをご覧になって「この様子なら今日はもう帰ろう」と、帰宅時間を早められたり、ヘルパーさんの訪問都度に、エアコン温度について、直接電話で確認できたりとかして、タイムリーに状況によって対応で

	きています。書面等では、なかなかこのような対応は難しいですね。
ご参加者	タブレットで入力しているようですが、音声入力はできないのですか？
初山	音声入力にも対応していますが、やはり誤変換はありますね。
ご参加者	先ほどご家族もご覧になれると仰っていましたが、全ての情報が見られるのですか？ご家族に見せられない部分、例えば「虐待の可能性ある」といったようなことは書けなくなりますよね？どのご家族もご覧になれるのですか？
初山	もちろん閲覧可能な範囲はこちらで設定していますが、現状は対象の方については全ての記録がみられるようになっていきます。ケアマネージャーさんはもちろんですが、希望されたご家族にもご覧いただけるようにしています。しかしながら、閲覧範囲等も含めまして、設定につきましては、まだ社内においても検討している段階であります。
ご参加者	記録はとても大事で、事件性のあることが起きた場合には全て公開するよう求められますよね。私たち看護師もあいまいな表現を使わないよう訓練されますから、記録を残すということは責任があるのです。でもそれも訓練する必要がありますし、誤解が生じるような言葉は書かないようにすればいいじゃないですか。それにご家族から求められた場合には情報は公開することになっていますしね。
中山	そうですね、ケアマネージャーさんやご家族が記録をご覧になっていると思うと、私たちも入力には気を遣うようになりますし、きちんと書こうという意識が高まります。できるだけ詳細にお伝えしたいです。プレッシャーになります、良いことだと思っています。
初山	タブレット操作はいかがですか？
ご参加者	タブレットの入力は時間との競争もあると思います。でもそれは事務所に戻ってから編集もできますし。もちろん微妙なことは口頭報告ということもあると思います。委託については事業性が難しく、やはり赤字になりますよね。あとタブレット操作を考えると、委託で行ける人は、いわゆる社員、常勤であるサ責もしくはタブレット操作が可能な人になると思います。このご時世ですから、タブレットの操作も求められますし。委託は1つの選択肢として、タブレット操作等が苦手という人は他の分野で活躍すれば良いのかなど。
ご参加者	タブレット操作がどうしても不得意な人もいますよね。年配のヘルパーは悪戦苦闘しますよね。例えば、紙に書いたものをカメラで撮影するとそれを文書にしてくれる機能とか、ペン自体にその機能があるものとかもあるから、そういったものを取り入れることはできないのですか？そういうものも併用して記録が取れば、委託した時にストレスなく、もっと対応できる人が増えると思いますよ。
初山	そういうものもあるんですね。皆様からのご意見をいただきながら、少しでも負担を少なく連携が行えるよう、改善できるところは取り入れさせていただきたいです。ぜひ、本社に報告させていただきます。
ご参加者	シンポジウムでも川崎市の担当の方が回答していましたが、委託費はあげられないのですよね？このサービスが広がらないのは、「事業性がない」というのが一番のネックだと思うのですが。今の委託費では、常勤いわゆる社員はいけますが、登録ヘルパーさんに交通費を出したり、祝日だったりすると必ず赤字になります。はなから赤字になると分かっているのは誰もやらないですよ。行政の方に、委託をたくさんは抱えられないとお伝えしたら

	「それでいいです。たくさん抱えてもらおうとは思っていません」と仰っていました。
ご参加者	今後、ニーズとしては増えるわけですから、委託先としてたくさんの事業所に手を挙げてもらって、それぞれ1件ずつでもやってもらう。語弊がありますが、多くの事業所が参加すれば、それぞれの赤字も少なくて済むし、みんなで痛み分けするってことですよ。
ご参加者	小規模多機能のサービスとも連携して発展させていきたいとも仰っていましたね。定期巡回サービスは鳴り物入りでできたものの、広がっていかないのは事業性ですよ。始めたいと思う事業所さんもあるでしょうが、事業性を考えるとなかなか手が挙げられませんね。
ご参加者	少ない予算でやっていくには仕方がないことなのでしょうね。
ご参加者	定期巡回サービスをやってみて実感としては、これからニーズは増えていくと感じました。これからは、長期入院は難しくなって、短期間で退院するケースが増えます。家族の立場からは、1日複数回入ってくれるから安心できますし、ありがたいですよ。
ご参加者	実際に定期巡回サービスに切り替えてみて、認知症の方とかに複数の方が訪問するのはどうなのかな？とも思っていたのですが、いい効果がでてきたなと思っています。実際にご利用されている方はデイサービスに行けない人で薬が飲めない状況だったのですが、少しの時間の訪問が逆に負担にならずに良かったのかなと。長い時間だと気を遣ってしまうけど、少しの会話もできるし、今まで全く人に会わない人が、会うようになっていい刺激になったなど。意外と楽しそうに会話をしていたりして、けっこういいのかもと思いました。同じ人が同じように行く今までの訪問介護も良いですが、それとは別な選択肢としてもっと定期巡回サービスを使っていったいいかなと思いました。短時間の訪問も認知症の人にもいいのだなど。短時間であればお互いに嫌な思いをしなくて済みますし、「また来ますね」で切り上げられますし。その時楽しくしてくださるスキルが重要なのだなと思いました。
初山	私自身も定期巡回はこれから必要なサービスだと思っています。正直、運用は大変ですが、とてもやりがいがあります。とても良いサービスだと思っています。また、8月1日からは、現在の連携先である「ケア工房・真謝」さん、「[結]ケアセンターあさお」さん、「ワーカーズコレクティブグループとも」さん、「川崎市社会福祉協議会」さんに加え、「かないばら苑ヘルパーステーション」さんが、チーム型定期巡回の連携を受けてくださいました。日々、皆様のご支援を感じることができ、とても嬉しく思っております。また、とても励みになっております。今後とも、地域の皆様のご協力をいただきながら、少しずつではございますが、定期巡回が広まっていけば良いと思っています。微力ではございますが、今後ともより良いサービス提供ができるよう、励んでまいります。

議事録作成	中山 小林 初山
-------	----------

以上